

第 68 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 25 年 10 月 26 日 (土)

那珂核融合研究所 ITER 棟玄関ロビー会場(原子力機構那珂核融合研究所 核融合施設見学会会場にて)

2. 来訪者：3 名

3. 説明概要：

H25 年度的那珂施設公開にあわせて、来訪者に資料を配布し、核融合や ITER について説明するとともに、ITER 機構職員募集及び登録の案内を行った。

(ITER 統合支援グループ 森山、ITER 計画管理グループ 西野)

4. 主な Q&A

Q：ITER 計画とは何ですか？

A：ITER 計画は平和目的の核融合エネルギーが科学技術的に成立することを実証するため、人類初の核融合実験炉を実現しようとする超大型国際プロジェクトです。ラテン語の道や旅という意味も兼ねる「ITER」には、核融合実用化への道・地球のための国際協力への道という願いが込められています。ITER 計画は 2020 年の運転開始（ファーストプラズマ）を目指し、日本・欧州連合(EU)・ロシア・米国・韓国・中国・インドの 7 極により進められています。

Q：現在サンポールレデュランス・サイトで ITER 機構に従事している人数と日本人の数はどうなっていますか？

A：ITER 機構の職員総数は 2013 年 9 月末現在 498 人です。専門職員が 316 名、支援職員が 182 名です。日本からは 26 名の研究者・技術者が専門職員として ITER の建設活動に従事しています。支援職員は 6 名です。日本国籍の方の割合は、専門職員が 8.2%程度となっています。更に多くの日本の方々が ITER 機構で働けるよう支援を行っております。

Q：ITER 機構職員に応募するとき、核融合の研究開発に関する職務経験は必要でしょうか。核融合の物理や工学とは関係ない分野でも職員募集はありますか？また事務職も募集があるのででしょうか。

A：ITER 機構が募集するポストは、核融合に関する研究実績がある研究者・技術者ばかりでなく、機械系、電気系の技術者、プラント建設の経験を有する技術者、国際プロジェクトの経験者など、幅広く人材を求めています。また、人事や財務、契約などの事務系の職員も募集しています。募集ポストの Job Details に記載された職務経験や専門性をご覧

いただき、ご自分の職歴・専門性に合致するポストに積極的に応募して下さい。

現在募集中のポストについては、以下のページをご覧の上、ご確認下さい。

イーター機構 職員募集のページ (英語)

<http://www.iter.org/Pages/Jobs.aspx>

Q：日本が分担している機器があれば教えてください。

A：日本が分担している調達機器は多岐にわたります。パンフレットにも紹介されている通り、中心ソレノイド、トロイダル磁場コイル、トリチウムプラント設備、ブランケット遠隔保守機器、ダイバータ、高周波加熱装置、中性粒子加熱装置、計測装置などになります。

パンフレットは、<http://naka-www.jaea.go.jp/kankoubutu/PDF/iter.pdf>

をご参照下さい。